

2024年度 第3回 複合型サービスきょうりつ（看護小規模多機能型居宅介護）
運営推進会議

日 程：2024年9月27日（金） 14:00 ～ 14:30

場 所：複合型サービスきょうりつ 家族談話室

出席者：綾部市地域包括支援センター：岡野 永莉 様

中部地域包括支援センター：中野 多加子 様

複合型（管理者）：白波瀬 実

欠席者：サロン広楽：梶村 隆三 様

複合型（訪問看護）：清水 麻里

1、報告事項

- ・8月度実績：延べ登録者数 26名

延べ短期利用 0名

- ・平均介護度：3.27

- ・利用地域：黒谷、広小路、篠田、館、梅迫、大島、位田、味方、栗、駅前、
青野、本町、物部、岡、中ノ町、寺町、上野、多田、下八田、安国寺
（本町）、（神宮寺）（ ）…新規

- ・サービス別 延べ提供数

通い：433回 泊り：164回 訪問（介護）：219回 訪問（看護）：14回

全サービス提供回数：830回（一人あたり週平均サービス提供回数：5.9回）

（前回6月の実績）延べ登録者数 26名 短期利用0名 平均介護度 3.25

通い：430回 泊り：173回 訪問（介護）：214回 訪問（看護）：13回

全サービス提供回数 830回（一人あたり週平均サービス提供回数 6.2回）

- ・利用状況…新規利用者 1名（居宅介護からの紹介）

終了・中断利用者 3名（長期入院）定期的に在宅支援入院を利用され、家族の介護軽減を図っている。

- ・サービスごとの特徴

通いサービス…1日平均 14.0回（前回 14.3回）

泊りサービス…1日平均 5.3回（前回 5.8回）

訪問（介護）…1日平均 7.1回（前回 7.1回）

訪問（看護）…1日平均 0.5回（前回 0.4回）

- ・利用者の状況…

8月は通い・泊りサービスともに定員まで余裕がある状況であった。居宅介護支援から紹介があった新規利用者は新型コロナに感染され、風邪症状や食事・水分摂取が困難となったため急遽、複合型に紹介あり。家族は遠方で支援が困難なため、介護支援で朝・昼・夕と服薬や健康管理、食事支援を行った。

9月に入り、通い・泊りサービスの希望が多くなっている。利用定員に至っていないが、新たなサービス提供が困難な状況のため新規利用者の受け入れができない状況となっている。

2、介護サービスの状況。

複合型利用者の個別避難計画の作成状況について報告。支援対象者に必要な支援を地域の方に説明し、地域の支援者を探している状況。

9月に発生した台風の進路が定まらず、安全確保のため3回ほどサービスを調整した経過あり。非常災害の備えやBCP発動を意識することができた。

綾部市から能登地震被災地への支援を行った経験から、学習会を開催し防災意識を高める取り組みが行われた。また、実際の避難に活かせるようシュミレーションや訓練を行っている。市内の空き屋が増えている。人口減少が進み家族同居も少ない。地域の助け合いが困難な地域も多くなっており、限られた人材で避難所を運営する必要がある。

複合型施設で1時間程度停電させる電気設備点検があった。明かりに加え、水道やトイレ・エアコンなどの使用が出来ない状況となった。情報はラジオ・スマートフォンから入手。医療面では喀痰吸引やエアーマットは蓄電池を使用。停電による影響を経験することが出来た。

3、地域の状況、課題・要望・助言 等

各地で敬老会が開催された。コロナ禍前より規模は縮小となっているが再開されている所が増えている。市長の訪問や会場参加者にとって喜びのひとつとなっているとの情報あり。

4、その他

・きょうりつカフェひだまり（認知症カフェ）…9/28

毎月開催中。対象者10名程に加え、介護者・職員の参加あり会場がいっぱいになる時あり。送迎が必要な方には対応しており、定期的に新規参加の方もいる。季節に合わせた企画を準備し、毎回参加しても楽しめるよう工夫している。

○ 次回、運営推進会議日程 2024年11月22日（金）14時～
※第4金曜日

以上